

瑞穂市全域

令和2年度

【地域の概要】

- 岐阜県南西部に位置し、市の東には長良川、西には揖斐川が流れ、市全域が概ね平坦な地域。
- 耕地面積は田が698ha、畑278ha、合計976ha。
- 水稻を中心に柿や都市近郊の有効性を活かした施設農業（いちご・花き）が盛ん。
- 農業者や担い手の高齢化や後継者不足が課題であり、遊休農地化となることが懸念される。

取組開始前の状況や課題

- 担い手への集積率

平成29年度	23.63%
平成30年度	24.29%
令和元年度	24.18%
- 遊休農地面積・割合

平成29年度	0.6ha	0.06%
平成30年度	0.4ha	0.04%
令和元年度	0.4ha	0.04%



取組内容

- 農業委員会により、農地パトロールを実施し、遊休農地の発生防止に努めた。
- また、定期的に市内全域の農地を見回り、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局と連携し、遊休農地或いは違反転用の早期発見に努めた。
- 農業委員、農地利用最適化推進委員が日頃の活動で遊休農地、おそれのある農地を発見した場合、その都度事務局に連絡し、事務局は現地確認など状況を把握。
- 改善が必要な遊休農地の場合は、文書を送付。市内であれば所有者を戸別訪問し面談、遠方であれば、シルバー人材センターの草刈等を案内するなど、遊休農地の発生防止、早期の解消に向け活動した。

今後の展開と方向性

- 現在の農地パトロールを今後も継続し、農業委員、農地最適化推進委員と連携を行い、遊休農地の発生防止に努める。
- 市広報或いはホームページを活用し、遊休農地の新規発生防止の啓発を行う。
- 担い手による耕作が見込める農振地域内を中心に、農地中間管理事業の案内をし、利用権設定を促していく。